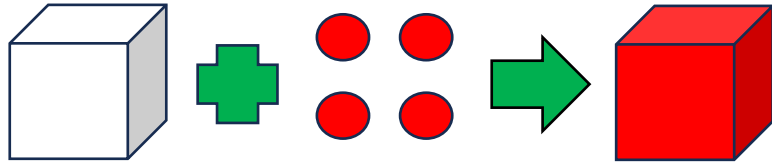
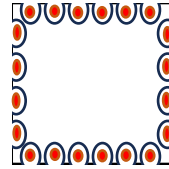


染色の着色イメージ

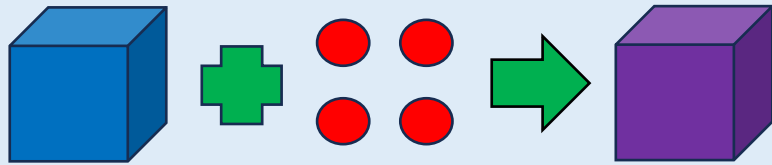
イメージ的な解説のため、
詳細を省いている部分があります。



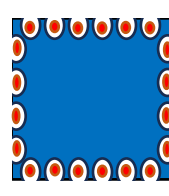
白色の成形品を**赤色染料**で染めると**赤色**に発色します。



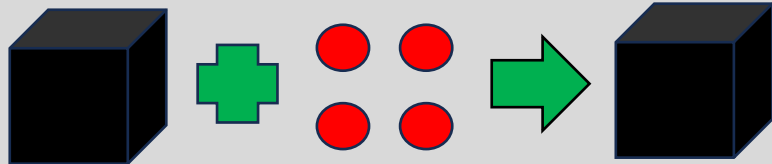
断面図



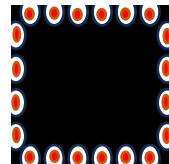
青色の成形品を**赤色染料**で染めると**紫色**に発色します。



断面図



黒色の成形品を**赤色染料**で染めると**黒色**のままです。



断面図

- ※ 染料は粒子が非常に細かいため、濃い色に対して影響を大きく与えることが出来ません。
- ※ 白色への染色は、上記理由があるため白に染める事は出来ません。

POINT1

染色は、元色に染料の色を足し算で着色していきます。
白に赤を足すことで赤色に。青に赤を足すことで紫色に発色。

「濃い色」から「薄い色」への着色は出来ません。
染料は粒子が細かいため、濃い色へ影響を大きく与えることが出来ません。濃い青を赤色で染色すると濃い紫に染まります。
黒に赤を足す場合は、黒が一番濃いため影響を与えません。
(正確には少し赤味のある黒系になります。)

また、染色では白色に染める事が出来ないため、成形品の白色への着色が必要な場合は顔料を練りこんだ材料着色か、塗装での白色への着色をご検討ください。

POINT2

染色による樹脂着色は、成形品の成形方法や樹脂のグレードなどに影響を受けるため、すべての樹脂において同じ条件下で染色した場合、同じ着色結果にはなりません。

そのため、弊社では、本番前に調色と言う色合わせを行います。
可能な限り、ご依頼いただく成形品か、同じ樹脂の端材をご提供
くださいますようお願いいたします。